

6月1日、いよいよ学校が再開しました。

皆さんが安心して学校生活を送れるように、毎日、放課後、先生方で消毒を行います。しかし、それだけで感染予防ができるわけではありません。生徒の皆さんの協力が必要です。

今日からの学校生活は、今までの学校生活とは違い、コロナ予防を常に意識した生活をしていく必要があります。学校生活は集団生活ですので、一人ひとりが「もしかしたら自分は無症状感染者かもしれない。人に感染させてしまう可能性があるかもしれない」という気持ちを持って、感染予防の行動をとることが非常に大事になります。

手洗いなども、最初は面倒くさいと感じるかもしれませんが、「習慣化」させることで、「当たり前」のこととなっていきます。先生方も、皆さんにいろいろ呼びかけをしていきますが、皆さんは高校生ですので、自分で判断して行動できると思います。習慣化できるまではなかなか大変だとは思いますが、お互い声をかけ合っていきましょう。



学校生活の1日の流れ

学校生活の流れにそって、新型コロナウイルス対策に関わる取り組みを紹介していきます。今までの学校生活との違いをしっかりと理解し、協力をお願いします。

朝（登校前）

- * 検温・健康観察表の記入
- * 用意するもの
マスク・ハンカチ・タオル
ティッシュ・ランチョンマット
ビニール袋等・水筒

- ・毎朝、家で検温し、風邪症状などがないかどうか健康観察
→発熱、風邪症状がある場合は家で休養します
(学校へは必ず欠席連絡を入れてください)
- ・ハンカチ・タオルは必ず必要です。学校生活では何度も手洗いの場面があります。手をふくためのハンカチ・タオルは他の人と貸し借りは厳禁です! 感染予防のために、自分のものを用意しましょう。当然、毎日新しく交換してくださいね。
- ・使用後のマスクや鼻をかんだティッシュなどは、学校のごみ箱に捨てずに、ビニール袋に入れて持ち帰りましょう。

登校時（電車・バス）

- * マスクの着用
- * 会話を控える、顔を触らない

- ・緊急事態宣言が解除になってから、電車やバスなどは通常の混雑状態に戻っています。マスクを着用し、なるべく人との距離を保つなどソーシャルディスタンスを保ちましょう。
- ・混雑時は特に、会話を控え、感染予防に気をつけます。

登校後

- * 石けんによる手洗い
- * 検温忘れの生徒は事務室前へ

- ・学校の手洗い場（外の手洗い場にも）には、石けんを備えています。学校に着いたら、教室に入る前に、石けんを手を洗ってください。手指消毒液での消毒は、手を洗う時間がない時の補助的なものと考えてください。

・自宅での検温を忘れた生徒は、教室に入る前に、2階事務室前で検温を行います。マスク忘れの生徒も、2階の事務室前に取りに来てください。

朝の SHR

* 健康観察表の提出

・担任の先生が、朝（午後登校の場合は昼）の SHR で「健康観察表」のチェックを行います。

授業中

* 換気の徹底
* 用具の共有がある授業前後の手洗い
* マスクの着用・水分補給

・教室も廊下も常に換気を行います。日によっては寒さを感じる日もあると思いますので、温度調整ができるように準備をしてきてください。

・情報や体育・音楽・美術・理科・家庭科など、他の人と用具を共有する授業の前後は手を洗ってください。また、使用中はなるべく顔を触らないように気をつけましょう。

・体育ではマスクの着用は必要ありませんが、他の人と十分な距離をとりましょう。

休み時間

* 密にならないように注意
* トイレ後は石けんで手洗い

・もしかして、学校生活で一番感染リスクが高いのが休み時間かもしれません。友達と話しているうちに、ついつい近づいてしまうことがあると思いますが、お互いの体が触れ合わないよう気をつけます。

昼休み（昼食時）

* 昼食前後は、石けんで手洗い
* ランチョンマットをひく
* 前を向いて食べる
* 会話は控えめに

・分散登校中は昼食はありませんが、6月15日からは昼食時間があります。手洗いは昼食前だけでいいんじゃないの？と質問されることがありますが、食事中に自分の手についたウイルスを広めないために、昼食後の手洗いも必要です。

・机を向かい合わせにしたりせず、自分の机で、前を向いて食べましょう。寂しいですが、飛沫感染防止のため、食べながらの会話も控えめに…。

清掃時間

* 石けんでの手洗い・マスク

・清掃用具を共有しますので、清掃前後は、石けんで手を洗います。

部活動

* 3密に気をつけて
* 部活前後は石けんでの手洗い
* 部室での密集防止
* 健康観察の徹底

・3密（①換気の悪い密閉空間 ②多くの人が密集 ③近距離での会話や発声）にならないようにします。ミーティングは、人と人との間隔を極力とり、向き合わない状態で行います。

・部室の利用は、時間差で利用するなど、一度に多くの人が利用しないように気をつけましょう。

・活動前はもちろん、活動中も体調が悪くなった場合は参加しません。